

市橋まち協だより

令和3年6月30日発行
第5号発行
市橋まちづくり協議会

令和3年度 市橋まちづくり協議会 総会

令和3年5月15日（土）市橋公民館において、令和3年度 市橋まちづくり協議会 総会が行われました。井上会長からは「昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各種行事が中止になり、まちづくり協議会運営が難しい状況でしたが、今年度もコロナの状況をみつつ活動をしてまいりたいと思います。」とのあいさつがなされました。その後、令和2年度事業報告・収支決算報告がなされました。その中で、「市橋ふれあいフェスタ中止」に伴って「市橋防災Q & A」を作成したこと等の工夫した活動についての報告がありました。次に令和3年度役員/委員報告・事業計画・収支予算案が提案され、参加者全員の了承を得て議決されました。主な事業計画としては下記のとおりです。

市橋ふれあいフェスタ（11月）

令和3年11月21日（日）市橋小学校を主会場に市橋地域をめぐる「市橋ふれあいフェスタ」を計画します。授業の一環としての位置づけもし、市橋小学校5年生児童の参加も予定しています。市橋地域の新型コロナウイルス感染状況も見つつ、市橋地域の歴史・文化に触れ、地域愛の醸成と共に健康促進のために市橋ふれあいフェスタを開催したいと思います。

健康福祉部会

市橋なごやか健康体操（11月）
男性の料理教室（2月）

防災安全部会

市橋校区自主防災計画勉強会（6月）
運転者横断歩道停止運動 作文募集（8月）

教育文化子育て部会

花いっぱい運動（6月・11月）

新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、上記計画の内容・時期を変更することがありうることをご理解・ご了承くださ



市橋なごやか健康体操



花いっぱい運動

挨拶

会長 井上 重隆

国境の長いトンネルを抜けると雪国・・・（川端康成「雪国」）

私達は自分では気がつかない間に、コロナ・ウイルスの長いトンネルに入ってしまったようです。途中、少し明るい所があったので、出口かと思い「GO TO トラベル」で旅行に出かけた人もいました。今度こそトンネルの出口が近づきそうです。岐阜市長が自ら、非常放送を使って、市民に自粛を呼びかけたこともあり、市橋ではコロナ・ウイルス感染発病した人はいません。「皆さんよく頑張りました。」 ワクチン接種しても油断はできません。マスクをして、人との距離を保ち、まちづくりの行事に参加してください。多くの人の参加を待っています。



防災安心部会長

浅野 郁郎

市橋まち協では、横断歩道で一時停止する車が非常に少ない現状から、「横断歩道での一時停止」を啓発する取り組みとしてステッカーの製作配布をしてきました。長野県の実態は2020年のJAFの調査によると72.4%で全国1位です。子供のころから、親が横断歩道で止まることを見て育っているとのこと。これからは、日常の取り組みとして、横断歩道で止まることを会話の中で語っていただき、その意識を高めていきたいと思います。宜しくお願いいたします。

健康福祉部会長

杉山 修二

今も続くコロナ禍、人と人とのつながりが難しくなっています。新しく住む人が多い市橋は地域のコミュニティづくりが課題です。人口増は続き今では1万5千人を超えています。幸い、若い世代が増えています。こうした方とともに一緒に、安心して住みやすい市橋のまちづくりに考えていきたいと思います。

教育文化子育て部会長

中村 敏徳

昨年度に引き続き、令和3年度も年2回春（6月）と秋（11月）に花いっぱい運動を実施します。小学校低学年の子どもたちから、ご年輩の方まで、幅広い年代の皆さんに手軽に参加いただけるボランティア活動として取り組んでまいります。低学年からの活動を通して、子どもたちの心に自己有用感が芽生え、自己肯定感が花開き、郷土愛の実が結ぶよう、地域に根付いた活動を目指します。皆様のご参加をお待ちしております。

花いっぱい運動



6月5（土）市橋地区に花を咲かせ明るく美しい街にをコンセプトに「花いっぱい運動」を実施しました。市橋公民館前では、昨年11月に各公民館に設置したプランターに日々草、マリーゴールド、サルビアの植え替えをしたり、下奈良公園、西荘公園でも日々草、マリーゴールド、サルビア、ミニひまわり、ガザニアなどを植え替えました。

この活動を通じて市橋地域が花いっぱいの地域になればと考えております。皆さんも家や畑などで花を咲かせてみてはどうですか？皆さんの協力で市橋が花いっぱいになることを願っております。

